曇つた秋

中原中也

青空文庫

1

或る日君は僕を見て嗤ふだらう、
あんまり蒼い顔してゐるとて、
十一月の風に吹かれてゐる、無花果の葉かなんかのやうだ、
棄てられた犬のやうだとて。

まことにそれはそのやうであり、
犬よりもみじめであるかも知れぬのであり
僕自身時折はそのやうに思つて
僕自身悲しんだことかも知れない

それなのに君はまた思ひ出すだらう
僕のゐない時、僕のもう地上にゐない日に、
あいつあの時あの道のあの箇所で
蒼い顔して、無花果の葉のやうに風に吹かれて、——冷たい午後だつた——

しよんぼりとして、犬のやうに捨てられてゐたと。

2

猫が鳴いてゐた、みんなが寝静まると、
隣りの空地で、そこの暗がりで、
まことに緊密でゆつたりと細い声で、
ゆつたりと細い声で闇の中で鳴いてゐた。

あのやうにゆつたりと今宵一夜を
鳴いて明さうといふのであれば
さぞや緊密な心を抱いて
猫は生存してゐるのであらう……

あのやうに悲しげに憧れに充ちて
今宵ああして鳴いてゐるのであれば
なんだか私の生きてゐるといふことも
まんざら無意味ではなささうに思へる……

猫は空地の雑草の蔭で、
多分は石ころを足に感じ
その冷たさを足に感じ、
霧の降る夜を鳴いてゐた——

3

君のそのパイプの、
汚れ方だの※げ方だの、
僕はいやほどよく知つてるが、
気味の悪い程鮮明に、僕はそいつを知つてるのだが……

今宵ランプはポトホト燻り、
君と僕との影は床に
或ひは壁にぼんやりと落ち、
遠い電車の音は聞こえる

君のそのパイプの、
汚れ方だの燃げ方だの、
僕は実によく知つてるが、
それが永劫の時間の中では、どういふことになるのかねえ?……

今宵私の命はかゞり
君と僕との命はかゞり、
僕等の命も煙草のやうに
どんどん燃えてゆくとしきや思へない

まことに印象の鮮明といふこと
我等の記憶、謂はば我々の命の足跡が
あんまりまざまざとしてゐるといふことは
いつたいどういふことなのであらうか

今宵ランプはポトホト燻り
君と僕との影は床に
或ひは壁にぼんやりと落ち、
遠い電車の音は聞える

どうにも方途がつかない時は
諦めることが男々しいことになる
ところで方途が絶対につかないと
思はれることは、まづ皆無

そこで命はポトホトかゞり
君と僕との命はかゞり
僕等の命も煙草のやうに
どんどん燃えるとしきや思へない

コホロギガ、ナイテ、ヰマス
シウシン　ラツパガ、ナツテ、ヰマス
デンシヤハ、マダマダ、ウゴイテ、ヰマス
クサキモ、ネムル、ウシミツドキデス
イイエ、マダデス、ウシミツドキハ
コレカラ、ニジカン、タツテカラデス
ソレデハ、ボーヤハ、マダオキテヰテイイデスカ
イイエ、ボーヤハ、ハヤクネルノデス
ネテカラ、ソレカラ、オキテモイイデスカ
アサガキタナラ、オキテイイノデス
アサハ、ドーシテ、コサセルノデスカ
アサハ、アサノホーデ、ヤツテキマス
ドコカラ、ドーシテ、ヤツテクル、ノデスカ
オカホヲ、アラツテ、デテクル、ノデス
ソレハ、アシタノ、コトデスカ

ソレガ、アシタノ、アサノ、コトデス
イマハ、コホロギ、ナイテ、ヰマスネ
ソレカラ、ラツパモ、ナツテ、ヰマスネ
デンシヤハ、マダマダ、ウゴイテ、ヰマス
ウシミツドキデハ、マダナイデスネ

ヲハリ

（一九三五・一〇・五）

青空文庫情報

底本：「中原中也詩集」角川文庫、角川書店
　　1968（昭和43）年12月10日改版初版発行
　　1973（昭和48）年8月30日改版13版発行
※「燻」に対するルビの「かが」と「かゞ」の混在は、底本通りです。
※誤植を疑った箇所を、「中原中也詩集」角川文庫、角川書店、1995（平成7）年5月30日改版54版発行の表記にそって、あらためました。
入力：ゆうき
校正：木浦
2013年1月23日作成
2018年12月27日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

曇つた秋

中原中也

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/